

おれんじの屋根

施設長より

「主役は利用者さん」



学校（養護学校）にいた頃、現場実習で生徒に付き添って、終日、障がい者施設に行くことがよくありました。当時はまだ、いわゆる「措置制度」の下、施設は、入所・通所の更生・授産施設と、法外施設と言われていた作業所の時代でした。

その頃は、利用者さんは、「入所者」「園生」と呼ばれ、一方、職員は、「指導員」と呼ばれていました。「入所者」「園生」を指導するのが「指導員」の業務で、指導である以上、従うのが当たり前。指導する者と指導される者という上下関係があったような印象があります。職員は、「入所者」「園生」からは「先生」と呼ばれ、職員どうしも、「〇〇先生」と呼び合っていたように記憶しています。

それが、今日では、「契約制度」のもと、「入所者」「園生」は、福祉サービスを利用する人という「利用者」となり、職員は、その「利用者」を支援するための「支援員」となりました。「指導」の対象だった「入所者」「園生」が、福祉サービスの主役・主体者として、必要な支援を受けるということであり、措置制度の時代とは隔世の感があります。

この背景には、ノーマライゼーションの進展や国連の障害者権利条約締結後の批准に向けた法律や制度の整備充実、共生社会の実現など、近年の障がいのある人を取り巻く時代や社会環境の劇的な転換があるだろうと思います。時代や社会、制度や仕組みの変化の中で、新しい意味や価値を持った言葉や名称が登場し、さらに、その言葉・名称によって、私たちの意識が変わっていくのだと思います。

障がい者施設の主役は「利用者」さん。今日では、障がいのある人がいて、その人たちへの福祉サービスを行うために事業所があり、職員がいるのだという理解が、当たり前のこととなりました。しかし、障がい施設での虐待がたびたび起きていることを考えると、一部には、いまだに高圧的な態度で接したり、力で従わせようとする風潮が残っているのでしょうか。

「主役は利用者さん」。この理解に立てば、上から目線で「指導」する、あるいは「世話をしてやるのだ」といったことはないでしょうし、ましてや、暴言や暴力、虐待などはあり得ないということになります。

「主役は利用者さん」。このことを、形だけのものにしなないためには、利用者さんと職員とが対等な関係の中で、謙虚で誠実、温かみのある姿勢で支援を行うことが何よりも大切だと考えています。

職員紹介



長いお付き合いの中、自分の家族同様に、本気でケンカすることもあります。優先順位はいつもしょうぶが一番です！

副施設長 石川 理恵子



しょうぶの里に勤務し始めた頃はまだ小学校の低学年だった息子たちも成人し、月日の流れの早さを最近は特に感じるようになりました。これまで利用者さんの笑顔に支えられ、頑張ってきたと思います。これからも皆さんの笑顔のために頑張ります！

事務 有田 美紀

☆元気になりました！☆



年明け早々からの感染性胃腸炎も落ち着き、平常の生活に戻り始めた頃、今度はインフルエンザB型が・・・((+_+))

ご家族をはじめ、他施設の方々にはご心配とご迷惑をおかけいたしました。利用者さん、職員ともに元気になりました！



《地域生活支援センター ぎんなん》

私たちは何よりも、育成会の相談支援事業所として

- 福祉サービスの利用援助
- 社会資源を活用するための支援
- 生活力を高めるための支援
- 権利擁護のための援助
- 専門機関の紹介
- 虐待の防止及び早期発見のための関係機関との連絡調整

※相談サービス利用日、時間

午前9時～午後5時（土日祝日を除く）

〒861-5287 熊本市西区小島9-14-58 しょうぶの里内

TEL(096)245-6535 FAX(096)245-6536



「ぎんなんに相談すれば大丈夫」と思っていただけのように頑張ります。いつでもご相談ください。

相談支援専門員 米村 尚哲



計画相談を担当させていたでている方を通し、地域の様々な職種の方々と知り合い、知恵を出し合いながら課題に取り組んでいけることは相談支援専門員の仕事の大きなやりがいと感じております。相談支援専門員 吉富 篤

Happy Valentine's Day



2月14日はバレンタインデー
しょうぶの里でも女性利用者さんから男性利用者さん、職員へチョコレート渡しがありました。可愛くラッピングがされたチョコレートをもらった男性利用者さんはニコニコ顔で、食べられてました。



おしらせ

3月16日(金)から、熊本市東区桜木の《カフェギャラリー プリランテ》にて、さきりの作品展があります。お時間のあられる方はぜひお立ち寄りください。3月末まで展示されているそうです。

平成学園さをりクラブ作品展 II



日時：2018年3月16日(金)～31日(土)
12:00～17:00 定休日 最終日は15:00迄
会場：カフェギャラリー プリランテ

出品者
宮本澄子 山下幹代 徳永峰子 嘉悦仁美 森慶子
笹本真紀 今村千鶴 中島裕美 林節子 栗原良枝
(しょうぶの里)
* (平成学園のある小島地域の方々と保護者のグループです)
賛助出品 平成学園利用者作品
(定休日)：日曜、月曜、祝日
連絡先
プリランテ 090-9578-2049
林 090-8402-2177



給食室より

☆2月のイベントメニュー☆

- 2月 1日 節分メニュー
- 2月 3日 恵方巻き
- 2月 6日 リクエストメニュー(昼)
- 2月14日 バレンタインおやつ
- 2月26日 リクエストメニュー(昼食)



今年、しょうぶの里ではインフルエンザが流行しました。感染症の予防は、まず手洗いから!きちんと手洗いたつもりでも、親指や指先、指の間などは汚れが残りがちです。特に冬の時期は、石けんによる二度洗い→乾燥→アルコールによる消毒を心がけましょう。

管理栄養士 米村

医務室より

インフルエンザ まだまだ流行中!

しょうぶの里では2月初めよりインフルエンザが流行しました。利用者の皆さんには、外泊や外出を控えていただき、ストレスを抱えられた方もいらしたようです。

しょうぶの里では一段落したものの、まだまだ流行していますので、栄養のあるものを食べ、病気に負けない体づくりをしていきたいと思います。繰り返しになりますが、予防策です↓

- ☆手洗いやアルコール消毒
- ☆室内の湿度を保ち、栄養や休息をとる
- ☆予防接種を受ける
- ☆人混みへの外出を避ける
- ☆マスクの着用

看護師 齊藤

2月のお誕生日

高城 イツ子さん (16日)
山下 哲一さん (24日)

...お詫び...

1月のお誕生日
北岡 太士さん (24日) が
入っていませんでした

～編集後記～

やっと、感染症に罹患された方々も回復され、しょうぶの里にも平常の毎日が戻ってきました。
里の向かいにある白梅の花が咲き始め、少しずつ春が訪れているようです。
とは言ってもまだまだ寒い日もあるので、体調管理に気を付けたいと思います。

～～第10号～～

平成30年2月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

